2026 年 8 月

当院で維持透析を受けられた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究のために過去の記録が用いられることについて患者さんもしくは患者さんのご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、［お問い合わせ］までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

また、この研究については、KKR 高松病院治験審査委員会の審議にもとづき病院長の許可を得ています。

［研究課題名］　透析中ハンドグリップ運動が糖尿病透析患者のシャント血流量に与える影響

［研究機関］　ＫＫＲ高松病院（病院長：森　由弘）

［研究責任者］　血液浄化センター　臨床工学科　濱脇大貴

［研究の目的］　維持血液透析※1 を受けられている患者さんを対象に、透析中にハンドグリップ運動を行うことで、シャント※2 の血流量がどのように変化していたかを調査する。

※1: 維持血液透析：定期的に透析療法を行うこと

※2: シャント：血液透析のために手術により設けられる血液の通路

［研究の方法］

●対象となる患者さん

2026年5月1日から2026年6月1日までの間に当院で維持血液透析を受けていた方のうち、透析中のハンドグリップ運動を実施され、エコー検査による血流量測定をされた方。

●利用するカルテ情報（2026 年 5 月 1 日～2026 年 6 月 1 日までの下記情報を利用します。）

性別、年齢、透析歴、シャント歴、透析開始時とハンドグリップ運動前後および透析終了時のシャントのエコー検査結果

［研究期間］

病院長の許可日～2026 年 12 月 31 日（利用を開始する日：2026 年 9 月 24 日予定）

［個人情報の取り扱い］

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。本研究に関する情報は研究責任者により適切に管理・保管されます。

［問い合わせ先］

高松市天神前 4 番 18 号
ＫＫＲ高松病院　血液浄化センター　　担当　濱脇大貴
電話　０８７-８６１－３２６１㈹　　FAX　０８７-８３４－０１９９